

平成20年度当初予算 施策別概要

411 廃棄物対策の推進

- 41101 ごみゼロ社会づくりの推進 (環境森林部)
- 41102 産業廃棄物の適正処理・再生利用の推進
(環境森林部)
- 41103 産業廃棄物の不法投棄等不適正処理の是正・未然防止の推進 (環境森林部)
- 41104 廃棄物の減量化や環境危機対応のための調査研究・試験検査の推進
(政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

(対象) 県民、事業者、行政が

(意図) 廃棄物の発生を極力抑制し、分別の徹底など廃棄物の減量化への取組を一体となって進め、どうしても処理しなければならない廃棄物を適正に処理している

< 施策の数値目標 >

| 施策目標項目(主指標) | | H18年度 | H19年度 | H20年度 | H22年度 |
|-------------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 廃棄物の最終処分量 | 目標値 | - | 269千ト | 221千ト | 208千ト |
| | 実績値 | 215千ト | | | |

最終処分された一般廃棄物と産業廃棄物の総量

| 施策目標項目(副指標) | | H18年度 | H19年度 | H20年度 | H22年度 |
|-----------------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 多量排出事業者における資源化率 | 目標値 | - | 38.0% | 38.5% | 39.5% |
| | 実績値 | 37.5% | | | |
| ごみの排出量削減率(家庭系) | 目標値 | - | 3.0% | 4.0% | 6.0% |
| | 実績値 | 1.0% | | | |

< 進捗状況(現状と課題) >

- ・ 限りある資源の消費を抑制し、環境への負荷を可能な限り減らす循環型社会へ移行していくためには、廃棄物の減量化などの取組が重要であり、今後、多様な主体がいかにか「廃棄物の発生抑制と循環利用」を自らの課題として認識し、連携しながら取り組むことができるか、またこれらの取組をいかにか県全体に広めていくかが課題となっています。
- ・ 産業廃棄物の不適正処理等が問題となっている状況の中で、県民の安全・安心を確保するため、地域と連携した監視等により、不法投棄等の未然防止につなげていく必要があります。
既に発生している産業廃棄物の不適正処理事案等のうち、生活環境保全上の支障やそのおそれのあるものについては、引き続き対応を進める必要があります。
また、企業活動から生じる産業廃棄物や、東海、東南海地震などにより大量に発生することが予想される災害廃棄物の処理体制づくりが必要となっています。

<平成 20年度の取組方向>

「ごみゼロ社会実現プラン」の短期目標（平成 22 年度）の達成に向けて、市町等と協働して実践的なモデル事業を実施し、成功事例を積み上げ、その取組の輪を広げていきます。

また、より効果的で効率的なごみ処理システムの構築のため、廃棄物会計などの市・町への導入を進めるとともに、県民意識の醸成に向けた普及・啓発に取り組みます。

産業廃棄物の適正処理や減量化については、排出事業者が自覚と責任を持って進める必要があることから、産業廃棄物の多量排出事業者が策定する適正管理計画の充実、自主情報公開を進めていきます。

また、廃棄物の適正処理に向けて、引き続き PCB 廃棄物や焼却残渣等について広域的な処理の支援に取り組むほか、企業活動から生じる産業廃棄物や災害時に発生する廃棄物の処理に不可欠な管理型最終処分場の設置促進をはかります。

産業廃棄物の不法投棄等の未然防止や、初期段階での機動的な対応を進めるため、市町等との連携をはかりつつ、引き続き監視・指導を徹底していきます。

また、産業廃棄物の不適正処理事案等については、地下水等の調査や生活環境保全上の支障等の除去など、必要な措置を講じます。

さらに、産業廃棄物の適正な処理を進めるための条例の制定に向けた取組を進めます。資源循環を推進するため、産業廃棄物の発生抑制技術、リサイクル技術を開発します。また、県内企業との共同研究により技術課題の解決をはかり、事業化を促進します。

<主な事業>

（舞）「ごみゼロ社会」実現推進事業【基本事業名：41101 ごみゼロ社会づくりの推進】

予算額： 30,809千円 34,230千円

事業概要： 「ごみゼロ社会実現プラン」の短期目標（平成 22 年度）の着実な達成を実現するため、プランに掲げる取組みのなかでもごみの減量化に効果的な取組を選択し、モデル事業として実施するとともに、これまでの成功事例を活用し、県全域への展開をはかります。また、ごみゼロ社会づくりへの取組をより親しみやすく感じてもらえるようごみゼロキャラクターを活用した啓発を通して、県全体でごみ減量化に取り組む気運を醸成していきます。

産業廃棄物適正処理推進事業【基本事業名：41102 産業廃棄物の適正処理・再生利用の推進】

予算額： 15,872千円 14,395千円

事業概要： 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物処理施設設置許可申請及び処理業許可申請に対する厳正な審査を行います。また、産業廃棄物の適正処理を推進するための条例を制定します。

（重）最終処分場確保事業【基本事業名：41102 産業廃棄物の適正処理・再生利用の推進】

予算額： 92,350千円 102,876千円

事業概要： 健全な産業活動の維持や災害廃棄物の適正な処理を確保するため、公的関与による管理型最終処分場の整備を進めます。

廃棄物処理センター環境基盤整備事業

【基本事業名：41102 産業廃棄物の適正処理・再生利用の推進】

予算額： 1,500,000千円 1,000,000千円

事業概要： 廃棄物処理センターの安定的・継続的な運営による適正な廃棄物処理を確保するため、財団法人三重県環境保全事業団を支援します。

産業廃棄物監視指導事業

【基本事業名：41103 産業廃棄物の不法投棄等不適正処理の是正・未然防止の推進】

予算額： 35,625千円 53,072千円

事業概要： 産業廃棄物の不適正処理の未然防止をはかるため、排出事業者、処理業者等に対する監視指導を行うとともに、スカイパトロール、休日・夜間のパトロール、近隣の府県との共同産業廃棄物運搬車両路上検査を実施します。

(重) 環境修復事業

【基本事業名：41103 産業廃棄物の不法投棄等不適正処理の是正・未然防止の推進】

予算額： 297,401千円 339,845千円

事業概要： 既に代執行を行っている桑名市五反田事案の汚染浄化施設の運転管理や、四日市市内山事案の硫化水素除去システムの維持管理等を行います。

(重) 不法投棄等の是正推進事業

【基本事業名：41103 産業廃棄物の不法投棄等不適正処理の是正・未然防止の推進】

予算額： 154,182千円 135,829千円

事業概要： 産業廃棄物の不適正処理事案について、安全性確認調査で有害物質が検出された事案について、引き続き水質等の調査を行います。また、安全性確認調査で生活環境保全上の支障等が認められなかった事案について、市町が自主的に行う環境修復の取組に対して支援を行います。